

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019 年 5 月 24 日作成

研究課題名	心血管疾患における赤血球粒度分布幅と平均血小板容積の有用性に関する観察研究
研究の対象	2016 年 1 月 1 日から 2019 年 5 月 31 日までに当院心臓血管センターに入院して治療を行った心血管疾患患者さんのうち血球算定検査を行った方で、入院時に 20 歳以上 90 歳未満の方。
研究目的 ・方法	<p>赤血球粒度分布幅（RDW）は、赤血球の容積を分布幅で示したものであり、RDW が大きいほど赤血球の大きさのばらつきが大きいことを表しています。RDW は冠動脈疾患、心不全、心房細動、末梢動脈疾患などの心血管疾患との関連性や予後予測因子としての有用性が示されています。平均血小板容積（MPV）は、血小板の平均容積であり、MPV が大きいと血小板活性が高い可能性が示唆されており、糖尿病、高血圧症、喫煙、肥満、脂質異常症、炎症との関連性や冠動脈疾患の予後との関連性が示されています。RDW も MPV も通常の血球算定の際に測定される項目であり、本研究の目的はこれらの指標が心血管疾患の評価や治療において有用であるかを検討することにあります。</p> <p>RDW も MPV も血球算定の際に測定される項目であり、通常の検査で得られる指標であることから、患者に対して追加の身体的負担や費用を必要としません。これらの指標が心血管疾患の評価や治療において有用であることがわかれば、患者の診断や治療に貢献する可能性があります。</p>
研究期間	2019 年 6 月 21 日 ~ 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	RDW、MPV は血球算定検査で用いた結果を用います。また、診療録より疾患名やその他の採血結果、画像診断検査結果、治療経過等の臨床データを収集します。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査部 海老名俊明 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5749</p>	